

事例 1

日本工業大学金型人材教育に見る スキルアップ事例

原理原則を踏まえた 体系的な知識を身に付け 実践に活かす

(株)新堀製作所 新堀 寛*



■ 試作から量産までの 一貫生産体制を構築

当社は、1948年に蛍光灯器具のプレス加工業として創業し、その後、農機具部品、ゴルフシャフトなどを製造品目に加え、1962年に会社を設立した。以後、自動車、自転車部品の金型製作からプレス、溶接までの一貫加工業として今に至っている。現在は大手自動車メーカーのティア2の位置づけで、主力製品は自動車関係部品が多く、特に乗用車のシートフレームおよび関連部品が売上の大半を占めている。

当社の強みとしては、創業以来の技術を活かした試作から、プレス、溶接、組立までの一貫加工体制にあり、特に試作から受注することにより、量産性および品質を考慮したつくり方に対応できる点である。また、金型、治具等についても自社手配で対応しており、現有の設備の特性を活かしたモノづくりを行っている。

主な量産用保有設備としては、自動プレス機

150t~600t 4台、単発プレス機 60t~200t 15台、NCパイプベンダー 4台、炭酸ガスアーク溶接対応ロボット 64台、スポット溶接ロボット 2台となっている。

■ 管理者育成に活用

当社も以前は、金型、溶接治具等是一部ではあるが社内において、設計・製作を行っていた。しかし昨今の新機種立ち上げ時には、数多くの金型と治具が必要となり社内では設計・製作していた工数を外作の推進、フォローに回し対応を図るようになった。その結果、技術の継承が団塊の世代の引退に伴い体系的に引き継がれていないなどの問題が表面化し、社内における金型技術の蓄積を危惧し、社内においてOJTを中心に教育を展開してきた。

しかし、日々の日常業務との兼ね合いで、計画的に進めることが容易ではなく、また実践知識に偏りやすく、原理原則を踏まえた体系的な教育という観点からは物足りなさがあり対策を思案して

*(にいほり ひろし)：代表取締役社長
〒350-1243 埼玉県日高市新堀 301-1
TEL：042-989-1381 FAX：042-985-3187

会社概要

会社名：(株)新堀製作所
設立：1962年5月
資本金：2,000万円
所在地：埼玉県日高市新堀 301-1
従業員数：160名



新堀製作所の新工場